

令和8年5月18日

九州地方整備局

熊本河川国道事務所

「しらぬひ風景海道」日本風景街道登録記念 イベントを開催します。

- 令和8年3月27日付け、九州地方整備局並びに熊本河川国道事務所記者発表でお知らせしていますが、日本風景街道九州ルートとして「しらぬひ風景海道」が誕生しました。
- この度、下記のとおり風景街道登録記念イベントを開催しますので、お知らせします。
- なお、イベントに先立ち、日本風景街道九州ルート登録証交付式（主催：九州風景街道推進会議）が、同日、同会場にて開催されます。

記

- 日時：令和8年5月31日（日）14:00～15:30
- 場所：宇城市小川総合文化センター・文化ホール
（熊本県宇城市小川町江頭80）
- スケジュール
（第1部）日本風景街道九州ルート登録証交付式（14:00～14:30）
（主催：九州風景街道推進会議）
登録証交付、記念撮影
（第2部）風景街道登録記念イベント（14:40～15:30）
（主催：しらぬひ風景海道）
意見発表、活動宣言、記念撮影など
※当日の都合や進行状況により変更になる場合があります。

（参考）「九州地方整備局記者発表資料（令和8年3月27日付）」
「熊本河川国道事務所記者発表資料」（ // ）

※報道関係の皆様へ

- ・当日の写真撮影は可能です。式典会場においては係員の指示に従って下さい。
- ・取材については、受付を設けておりますので必ず受付を済ませて下さい。

国土交通省

九州地方整備局
熊本河川国道事務所

技術副所長

交通対策課長

電話：096-382-1111（代表）

やました

山下

たけお

竹尾

おさむ

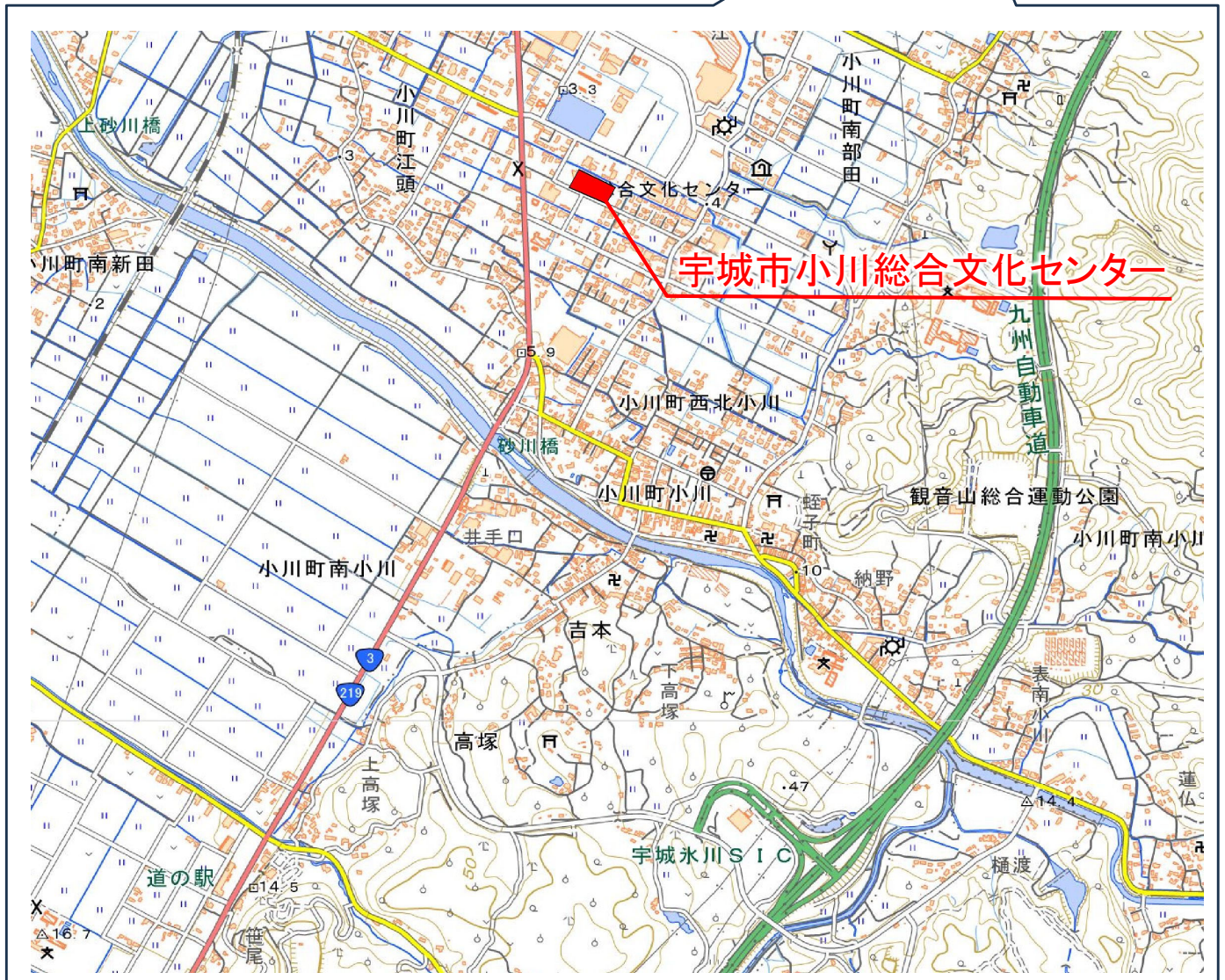
修

りゅういち

竜一

1. イベント会場位置図

宇城市小川総合文化センター・文化ホール
(熊本県宇城市小川町江頭80)



別添 送信票

※報道関係者 様

国土交通省 九州地方整備局

熊本河川国道事務所 総務課 宛

(FAX:096-382-0629)

「しらぬひ風景海道」日本風景街道登録記念イベントの取材申し込みについて

機関名	人数・氏名	代表者連絡先
	_____名 氏名 _____ 氏名 _____ ・フルネームでご記入下さい。 ・各機関2名までの人数をお願いします。	所属(部署) 氏名 _____ 住所 _____ _____ _____ 電話 _____ メール _____ 駐車場 _____ 必要 ・ 不要 (○を記入願います。)

※現地での取材・撮影を希望される方は、当送信票によりFAXで事前申込をお願いします。

申込期限: 令和8年5月28日(木)15:00まで

※手書き記入で結構です。

※当日の取材は、5月31日(日)13時30分までにお越し頂きますようお願いいたします。

※駐車場を必要とされる社については、駐車券を送付しますのでメールアドレス等の記載をお願いします。

※当日は腕章(社名が分かる物)の着用をお願いします。

令和8年3月27日
九州地方整備局

九州風景街道 新たに「しらぬひ風景海道」が誕生

九州風景街道推進会議（会長：石原進 九州旅客鉄道(株) 名誉顧問）が令和8年3月11日に開催され、「新規ルート登録」が決定しました。今回登録となった「**しらぬひ風景海道**」は、九州風景街道として17番目のルートとなります。

九州風景街道は、住民、NPO、企業など地域が主体となって行政と連携しながら、道を舞台に地域ならではの風景や自然、歴史、文化などの資源を活かした「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」「観光振興」に取り組んでいます。



※登録証交付式の日時・場所については、今後、改めてお知らせします。

※熊本河川国道事務所HPでも記者発表を行っております。

（事務所からのお知らせ） https://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/nt_list/nt2/

<問い合わせ先>

九州地方整備局 道路部 道路計画第二課

さかもと じゅんいち
課長 坂本 淳一
TEL:092-476-3530(直通)



日本風景街道の新規ルートの登録について 『しらぬひ風景海道』

■新規ルートの概要

活動範囲

熊本県南に位置する4市3町からなる広域ルート
(宇土市、宇城市、八代市、水俣市、
氷川町、芦北町、津奈木町)

中心となる道路

国道3号、国道57号、国道266号

地域資源

宇土・宇城地域、
八代地域、
芦北・水俣地域
に複数有り



実施予定の活動内容

①地域活性化

地域のつながり、
地域とのつながり、をつくる

②観光振興

たのしくかたる
仕かけをつくる

③美しい国土景観 の形成

美しいしらぬひの
風景をつくる

次世代育成・元気な地域づくり



水俣高校の生徒と連携し探求学習による観光のモデルコースを作成

フットパス・ウォーキング



フットパスコースを活用し、地域の魅力を発信

美化・清掃活動



国道3号での花植・清掃活動の様子



宇土・宇城地域

- 田園風景と不知火海の自然景観
- 温暖な気候を利用した花き栽培や果樹栽培が盛ん
- 三角西港、水島などの観光スポットが点在

八代地域

- 八代平野で営まれる農業
- 高速道路・新幹線・国際貿易港を有する利便性を活かした工業が盛ん
- 日奈久温泉などの観光スポットが点在

芦北・水俣地域

- 不知火海で獲れる太刀魚などの新鮮な海産物や、デコポン等の柑橘が有名
- 農業では環境に配慮した栽培方法を選択

しらぬひ風景海道

■活動のねらい

「みち」を生活や交流の「場」にしたい

しらぬひ風景海道では「みち」をもう一度地域の人々の生活や交流の「場」として提案・活用します。

来訪者を含めた多くの人々の参加を得て、その魅力を地域の人々と行政と一緒に発掘、維持、発展させます。

大切な地域のアイデンティティを未来につなぐ

ひとつひとつの地域には大切な物語があります。地域のルーツを知り、地域のアイデンティティを物語として紡いでいきます。

歴史と風土をアクティブに活かす

地元の子ども、観光客も、しらぬひを“学び”のフィールドに。

“歴史”と“風土”をアクティブに活かすしらぬひツーリズムを展開します。

ヒトの温度を感じる景観づくり

地域を知ると見える景色が変化する。歴史・成り立ちを大切に、景観資源を発掘し、みんなで道への愛着を守り・育てる活動を推進します。

■活動エリアと地域資源

活動エリア: 宇土市、宇城市、八代市、氷川町、芦北町、津奈木町、水俣市

景観資源: 三角西港、湯の児海岸、日光の棚田 等

自然資源: 不知火海岸、エコパーク水俣、轟水源・轟泉水道 等

歴史資源: 八代海干拓遺跡、旧井芹家住宅、佐敷城跡、津奈木城跡 等

文化資源: つなぎ美術館、八代妙見祭、竜北歴史資料館 等

体験・交流資源: まつちや朝市、赤星公園、火之国屋(忍術体験) 等

施設・情報資源: 道の駅宇土マリーナ、道の駅坂本、日奈久温泉、湯の児温泉 等

■活動推進体制

【風景街道パートナーシップの名称】 **みんなでつくろう しらぬひ風景海道**

【構成】民間: **43団体** (NPO法人しらぬひの風、JR九州、(一社)DMOやつしろ、宇土市観光物産協会、(一社)宇城市観光物産協会、(一社)みなまた観光物産協会、芦北町観光協会、宇土市商工会、宇城市商工会、八代商工会議所、八代市商工会、津奈木町商工会、水俣商工会議所、芦北町商工会、氷川町商工会、JAあしきた、肥後銀行(宇土・松橋・八代・八代駅前・八代市役所・小川・佐敷・水俣)、(株)NAINAI、(有)ピーエス広告社、NPO法人ななうらステーション、水俣市久木野地域振興会、フットパス芦北、熊本大学、水俣高校、道の駅 うき、道の駅 宇土マリーナ、道の駅 竜北、道の駅 秘境の郷いずみ、道の駅 東陽、道の駅 坂本、道の駅 たのうら、道の駅 芦北でこぼん、道の駅 大野温泉、道の駅 みなまた、FMやつしろ、テレビやつしろ)

行政: **12団体** (熊本県(宇城振興局・芦北振興局・熊本県南広域本部)、八代市、宇城市、宇土市、氷川町、芦北町、津奈木町、水俣市、熊本河川国道事務所、八代河川国道事務所)

■地域資源、活動内容



日本風景街道の概要

- 日本風景街道とは、住民、NPO、企業など地域が主体となって行政と連携しながら、道を舞台に地域ならではの風景や自然、歴史、文化などの資源を活かした「美しい景観づくり」や「活力ある地域づくり」、「観光振興」に関する取り組みです。

地域活性化への寄与

地域の歴史、文化、伝統の継承、復元など世代間交流を通じたコミュニケーションの再生・促進 等

観光振興への寄与

地域資源、活動の情報発信や来訪者を楽しませる工夫 等

有機的に
つなぐ仕組み

美しい国土景観の形成

自然景観の改善、歴史的まちなみの保全 等

多様な主体（※）
による協働の取り組み

||

日本風景街道



（「ルート」として登録）

※多様な主体とは？

地域
住民

NPO

町内会
自治会

企業

地方公共団体
(市町村等)

大学
関係者

+

道路
管理者

道の駅

警察

その他

※活動に応じて必要な組織を含めることが可能

※上記の枠組みを「パートナーシップ」と呼んでいます。

- ◆九州では九州風景街道に関する取り組みを円滑かつ効果的に推進するため、『九州風景街道推進会議』を設置しています。

POINT



道路管理者や地方公共団体等も「多様な主体」の一員であるため、活動へ積極的に関わることが重要です。

令和8年3月27日
九州地方整備局
熊本河川国道事務所

九州風景街道※ 「しらぬひ風景海道」が登録されました

○九州風景街道推進会議（会長：石原進 九州旅客鉄道（株）名誉顧問）が令和8年3月11日開催され、「新規ルート登録」が決定しました。今回登録となった「しらぬひ風景海道」は、九州風景街道として17番目のルートとなります。

※九州風景街道とは、住民、NPO、企業など地域が主体となって行政と連携しながら、道を舞台に地域ならではの風景や自然、歴史、文化などの資源を活かした「美しい景観づくり」や「活力ある地域づくり」、「観光振興」に関する取り組みです。

○本ルートは、熊本県南地域を対象に、民間43団体、行政12機関のパートナーシップ団体で構成された広域の風景街道ルートとなります。登録にあたっては、民間団体や行政機関が一堂に会し、各団体や機関における活動方針を共有したうえで、今後における活動の進め方について確認しました。また、水俣市では水俣高校の生徒が考える将来の水俣の風景や街並みについて検討するなどの取り組みも進めて参りました。

○今後、パートナーシップ団体一体となって、熊本県南地域の観光振興や地域活性化などに向け活動して参ります。



R7.12 風景街道関係者総会「そーかい・そーかい」

国土交通省

九州地方整備局
熊本河川国道事務所

技術副所長

交通対策課長

電話：096-382-1111（代表）

やました おさむ

山下 修

たけお りゅういち

竹尾 竜一

コンセプトと活動の目的

コンセプト

みんなで作ろう しらぬひ風景海道

①地域活性化

地域の歴史、文化、伝統の継承、復元など世代間交流を通じたコミュニケーションの再生・促進など

大切な地域のアイデンティティを未来につなぐ

ひとつひとつの地域には大切な物語があります。地域のルーツを知り、地域のアイデンティティを物語として紡いでいきます。

②観光振興

地域資源、活動の情報発信や来訪者を楽ませる工夫など

歴史と風土をアクティブに活かす

地元の子ども、観光客も、しらぬひを“学び”のフィールドに。
“歴史”と“風土”をアクティブに活かすしらぬひツーリズムを展開します。

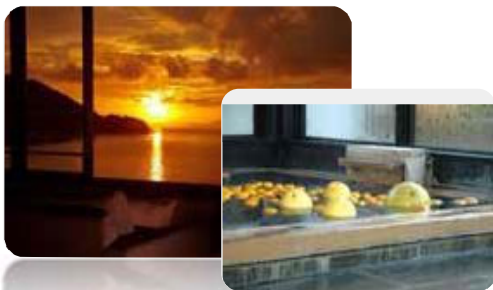
③美しい国土景観の形成

自然景観の改善、美しい景色の醸成など

ヒトの温度を感じる景観づくり

地域を知ると見える景色が変化する。歴史・成り立ちを大切に、景観資源を発掘し、みんなで道への愛着を守り・育てる活動を推進します。

活動目的



活動体制

- ・多様な主体でパートナーシップ(PS)を構築し、美しい国土景観の形成、地域活性化、観光振興を図る
- ・熊本県南地域(宇土市、宇城市、氷川町、八代市、芦北町、津奈木町、水俣市)の産官学でPSを構成

推進体制

【九州風景街道(事務局)】
九州地方整備局 本局(道計二課)



↑ 報告、相談 ↓ 連絡、支援

【パートナーシップ事務局】

民間：牧氏、澤田氏/ 行政：熊本河川国道・八代河川国道

↑ 提供・許可 ↓ 計画・申請

↑ 活動支援 ↓ 活動相談

↑ 協働・協力 情報提供等 ↓ 活動相談

道路管理者
(国土交通省・県・市町村)

活動場所の提供、資材提供、
景観整備、道路修繕など

行政

後方支援
PS内連携

民間

活動実施・PS内連携
(広報/協働)

パートナーシップ団体

パートナーシップ全55団体

民間43団体

- NPO法人しらぬいの風
- JR九州
- (一社)DMOやつしろ
- 宇土市観光物産協会
- (一社)宇城市観光物産協会
- (一社)みなまた観光物産協会
- 芦北町観光協会
- 宇土市商工会
- 宇城市商工会
- 八代商工会議所
- 八代市商工会
- 津奈木町商工会
- 水俣商工会議所
- 芦北町商工会
- 氷川町商工会
- JAあしきた
- 肥後銀行
(宇土・松橋・八代・八代駅前・八代市役所・小川・佐敷・水俣)
- (株)NAINAI
- (有)ビーエス広告社
- NPO法人ななうらステーション
- 水俣市久木野地域振興会
- フットパス芦北
- 熊本大学
- 水俣高校
- 道の駅 うき
- 道の駅 宇土マリーナ
- 道の駅 竜北
- 道の駅 秘境の郷いずみ
- 道の駅 東陽
- 道の駅 坂本
- 道の駅 たのうら
- 道の駅 芦北でこぼん
- 道の駅 大野温泉
- 道の駅 みなまた
- FMやつしろ
- テレビやつしろ

行政12機関

- 熊本河川国道事務所
- 八代河川国道事務所
- 熊本県(宇城・芦北振興局)
- 熊本県(熊本県南広域本部)
- 宇土市、● 宇城市、● 氷川町、● 八代市
- 芦北町、● 津奈木町、● 水俣市

活動範囲

- ・しらぬひ風景海道沿線である
宇土市、宇城市、氷川町、八代市、
芦北町、津奈木町、水俣市を対象。



芦北・水俣地域

- ・ 不知火海で獲れる太刀魚などの新鮮な海産物や、デコボン等の柑橘が有名
- ・ 農業では環境に配慮した栽培方法を選択



今後実施したい活動内容

①地域活性化

地域の歴史、文化、伝統の継承、復元など世代間交流を通じたコミュニケーションの再生・促進など

地域のつながり、
地域とのつながり、をつくる

次世代育成・元気な地域づくり



情報発信



- 水俣高校の生徒と連携し探求学習による観光のモデルコースを作成
- そのモデルコースを地域マスコミと連携し情報発信

②観光振興

地域資源、活動の情報発信や来訪者を楽しませる工夫など

たのしくかたる
仕かけをつくる

フットパス・ウォーキング



ルート内連携



- フットパスコースを整備し、ツアーやイベントで地域の魅力を発信
- サイクルトレインを活用し、サイクリングイベントを実施

③美しい国土景観の形成

自然景観の改善、美しい景色の醸成など

美しいしらぬひの
風景をつくる

美化・清掃活動



- 国道3号での花植・清掃活動の様子

これまでの活動内容

「そーかい・そーかい」の開催

しらぬひ風景海道の立ち上げにあたり、NPO法人しらぬひの風をはじめ、沿線自治体や関係団体が参加する関係者総会「そーかい・そーかい」を開催しました。

当日は約60名を超える参加者が集い、「みち」の利活用をテーマに、清掃活動やイベント開催、地域の歴史資源の活用、植栽による景観形成など多様な視点から意見交換を行うことで、参加者同士の交流を深めるとともに、今後の活動方針や連携の方向性を共有し、しらぬひ風景海道の持続的な展開に向けた機運醸成を図りました。



これまでの活動内容

おもなパートナーシップ団体の活動内容

有限会社ビーエス広告社 江崎 博美氏



日本遺産認定を契機に八代市の東陽町でフットパスコースを作った。石橋や歴史文化を巡る街歩きで地域の魅力を発信し、交流や観光促進を目指している。ガイド本の販売やイベント開催を継続し、第2弾コースも計画している。

フットパスコースを作ったきっかけ

日本遺産

令和2年6月19日
文化庁「日本遺産」に認定

【日本遺産認定タイトル】
八代を創造【たがやした石工たちの軌跡
～石工の町に息づく石造りのレガシー～

【ストーリー】
かつて主田で盛られた「めがね橋」が今も多くの中古品店を、それらの多くは八代で生まれ育った石工たちによって守り継がれてきた。この中継ぎした物語は日本各地で必要とされ、「津島万世橋」や「渡船橋」などの架設も成功に導き、主田に名声を轟かせるまでに見られました。それ以来、八代は多くの「石工」を輩出した「石工の町」と呼ばれています。

石工たちは、八代に定住する職人となりながら「平新事業」や、地域の交通を支えた「めがね橋」の架設などに携わり、八代の発展と人々の生活基盤づくりに共に力を注ぎました。この縁を繋ぎ上げ、新たな石工から石工へと成長していったのです。

彼らが築いた堅牢な基礎は、川面に美しいアーチを描くめがね橋、数々の貴重な石造りのレガシーは百歳年たったゆえ、まちの歴史や人々の暮らしの年を生き延びており、訪れる人々を「石工の町」へと誘ってまいります。

東陽町フットパスガイド完成

津奈木町 吉田 拓実氏



津奈木町では、1984年から「緑と彫刻のあるまちづくり」を掲げ、アートを軸に地域再生を進めてきた。現在はつなぎ美術館を拠点に住民参加型プロジェクトを展開し、観光や交流を創出。地上絵やホテル、海岸アートなどが地域の魅力を発信し、人・自然・アートがつながる中で、新たな交流や価値を生み出すまちづくりを継続している。

つなぎ美術館の概要と特色

アートによるまちづくり拠点として
2001年4月に開館

深井裕介 つなぎの橋っこ

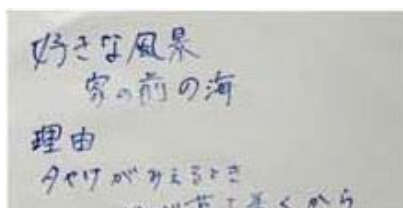
これまでの活動内容(水俣高校 探究活動連携)

探究活動の概要

- 水俣高校2年生(9名)を対象に高校生の考える風景海道のあり方を探究
- 探究学習時間は、【金曜14:35~15:25】
- 熊本大田中准教授指導で実施(全19回)



風景海道の拠点にあつたらいいなをチームで描く(計画)



5月:熊本大田中准教授、国土交通省からの講義



6月:グループワークで地域にあつたらいいなを議論



7月:中間発表の準備・プラン発表



2025/7/11 2チームに分かれて中間発表

風景海道における拠点と拠点のつなぎ方を考える(ルート検討)



9月:点と線のつなぎ方を検討(歩く・自転車・モビリティ)



自転車ルートを調査



ウォーキングルートを調査

10月:検討したルートを現地視察で確認

水俣高校 探究活動連携内容



11月:マップ作成



12月:成果発表(そーかい・そーかい)



1月:成果発表(風景海道現地視察)

グリーンスローモビリティ班

風景海道

～水俣の自然と町並みがゆっくりと楽しめる道～

徒歩班



風景海道

～歩いて、水俣を食べ尽くそう!～



自転車班

風景海道「自転車でつなぐ碧き海、緑の丘、水俣」
～自転車で水俣を満喫する旅～

特徴:他の移動よりも海を感じ自然を感じるこ
とができる
食べ物(チャンポンなど)
人の温かさ

未来:自転車専用道路
桜、もみじ、四季に応じてきれいな道

